

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和8年度第1回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和8年5月20日(水) 午後14時00分 開会 ・ 午後15時40分 閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 会議室
議 長 氏 名	会長 森谷秀一
出席委員(者)氏名	森谷秀一、北村陽子、富井弘、佐藤正恵、松橋茂子、渡邊みどり、 浅地由紀子、青山衣津子、島津恵子
欠席委員(者)氏名	松田千代
説明者の職氏名	館長 平岡康子、主幹 松本智、藤沢分館長 内野千春
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 図書館協議会の所掌事務と運営について 3 会長及び副会長の選出 4 会長及び副会長あいさつ 5 諮問 第4次入間市立図書館基本計画の策定について 6 協議事項 第4次入間市立図書館基本計画(素案)について 7 報告事項 令和7年度図書館利用状況について 8 その他 9 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1
配 布 資 料	・ 次第(表紙) ・ 入間市立図書館協議会委員名簿(p1~2) ・ 図書館協議会の所掌と運営について(p3~4) ・ 第4次入間市立図書館基本計画策定 経緯・経過(p5) ・ 第4次入間市立図書館基本計画 策定スケジュール(P6) ・ 第4次入間市立図書館基本計画〔素案(案)〕に対する意見(p7) ・ 令和7年度図書館利用状況について(P8~P12)【資料1】 ・ 第4次入間市立図書館基本計画〔素案〕
事務局職員職氏名	部長 浅見泰志、次長 増岡哲也、館長 平岡康子、主幹 松本智、 副主幹 松下麗比奈、主任 佐藤敏章、主事 長内優紀

会議録作成方法	要点筆記方式
---------	--------

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

1.開会

2.図書館協議会の所管事務について説明

委員10名のうち3名が新任であるため、図書館協議会の所管事務について資料(P3~4)に基づき説明を行った。

3.会長及び副会長の選出

立候補、委員による推薦はなし。事務局の提案により、次のとおり会長及び副会長が選出された。

会長 森谷 秀一

副会長 北村 陽子

4.会長および副会長あいさつ

5.諮問

第4次入間市立図書館基本計画の策定について

6.協議事項

第4次入間市立図書館基本計画(素案)について

7.報告事項

(1)令和7年度図書館利用状況について

8.その他

9.閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	6 協議事項
松本主幹	(1) 第4次入間市立図書館基本計画(素案)について (資料 P5～P7 に基づき説明)
内野分館	「ボードゲームであそぼう」の成果について説明(資料 p7)
佐藤委員	(素案 P18) レファレンスにおける生成 AI 活用について、研究を進めるとあるが、現状はどのような状況か。
平岡館長	まだ十分な研究に至っていない。他市の事例を参考に検討を進めたい。ぜひ委員の皆様の知見もいただきたい。
佐藤委員	都立図書館では AI チャットシェルフが導入されている。情報の正確性(ハルシネーション等)や、AI に学習させるか否かという視点も含めて検討が必要である。
平岡館長	AI 導入による課題はあるか。
佐藤委員	生成 AI にもそれぞれ特徴がある。大学での活用や台湾のキャラクターアバターを活用した事例など、若者が図書館に親しむきっかけとしての活用も考えられるのではないか。
浅地委員	(素案 P22) 対面朗読が長年実施されていない。図書館側で PR に努めてはどうか。
平岡館長	対面朗読の実績は少ないが、大切な取り組みであると認識している。周知・PR に努めたい
青山委員	(素案 P23) 中学生が放課後に勉強する際、土日に 17 時閉館では早すぎる。あと 1 時間延長すれば子どもの居場所としてより機能するはずだ。時間延長が難しくても、ニーズがあることは伝えておきたい。
平岡館長	開館時間の延長については、現時点では人員体制や予算等の制約から直ちに変更することは困難である。しかしながら、中学生等の学習環境確保というニーズは重く受け止めている。貴重なご意見として踏まえて検討したい。
青山委員	子どもが図書館で、目的の本を探すのに不便なところがある。AI と検索システムがうまく組み合わさったシステムが構築されたら、子どもでも楽に本を探せるようになり、足を運びやすくなるのでは。
佐藤委員	システムを変えるのは大変なことであるが、「カーリル」という誰でも

発 言 者	発 言 内 容
平岡館長	使えるウェブサイトがある。このような既存のシステムを活用するのもよいと思う。 検索システムと AI を組み合わせることで、子どもでも本を探しやすくなる可能性がある。また、既存のウェブサイト「カーリル」のような便利なシステムの活用についても、利用者に案内できるような仕組みを検討したい。
島津委員	(素案 P22) 先日、FM 茶笛で放送されている朗読番組を聴取し、視覚的な読書とはまた違った、朗読ならではの作品の魅力や読書の楽しさを改めて実感した。こうした体験は市民にとっても有意義であるため、大人向けの朗読講座の開催など、更なるサービスの充実を検討してはどうか。
平岡館長	子ども向けの読み聞かせについては、全館にて定期的に実施している。一方、大人向けの取り組みについても、現在、藤沢分館において実施しているところである。今後は、これらを含めた大人向けの読書支援をさらに充実させるべく、実施館の拡大やプログラムの内容など、拡充に向けた検討を進めてまいりたい。
渡邊委員	簡単に検索できることも重要だが、書架を直接眺めて偶然の本と出会うことも図書館の醍醐味である。AI 等の利便性と、偶然の出会いというアナログの良さを併用・融合できるサービスを提供すべきである。
平岡館長	検索の効率化と、書架を巡る楽しさの両立は重要な課題である。どのような組み合わせが最適か、引き続き検討する。
松橋委員	AI や外部の検索システムを含め、多様な図書館利用の手法について市民への周知が不足している。今後は活用促進に向けた講座等の企画を通じ、より多くの方が情報を利活用できる環境づくりが必要である。
平岡館長	さまざまな情報を周知することは大切であるため取り組んでいきたい。
松橋委員	「小学生への読み聞かせ」に関する記述について、「子どもの文字を読む負担を軽減し、物語の世界に集中できる」といった趣旨の内容を明記してはどうか。読み聞かせの教育的意義がより伝わりやすくなると思われる。
平岡館長	素案の細部については、今後さらに検討・修正を重ねる必要があると考えている。委員の皆様には、引き続きご意見をいただきたい。
富井委員	(素案 P23)「図書館は静かに本を読む場所」という発想を変え、子どもたちが集まり、会話もできる「居場所」としての機能を高めてはどうか。

発 言 者	発 言 内 容
平岡館長	居場所としての図書館は今後重要になるため、引き続き検討する。
北村副会長	生成 AI については、日頃から活用しているが、AI の回答を鵜呑みにせず、その正確性や妥当性を適切に見極める「情報の目利き」が重要である。同時に、対面でのコミュニケーションを通じた、言葉には表れない空気感や表情の重要性も失うべきではない。 本を探すプロセスについても、目的の資料に素早く到達できる検索機能と、書架を巡り、興味の範疇外であった本と予期せぬ出会いを果たす「発見」の機会は、ネットニュースと新聞の関係に似ている。これら両者の利点をいかにバランスよく活用していくかが、図書館サービスにおいても重要であると考えます。 また、開館時間については、市民の多様な働き方に寄り添うため、例えば職員のフレックス制度の導入などを検討し、ニーズに応じた柔軟な運用を図ってはどうか。
平岡館長	資料の検索において、目的のものを迅速に見つける利便性と、時間をかけて探求する過程で得られる深い学び、そのいずれもが図書館の重要な価値であると認識している。本日いただいた貴重なご意見を踏まえ、これら両者の利点をいかに併用し、効果的なサービス展開を図っていくかを今後の重要課題として検討していきたい。
森谷会長	次回の協議会（12 月）までに計画書を作成するステップが必要である。集まるのが難しければ書面で意見交換を行っては。
平岡館長	承知した。書面にて素案をお示しし、意見を反映しながら策定を進めたい。
佐藤委員	（素案 p22～p23）誰でも利用しやすい図書館について、地域の公共図書館が病院・療養施設などと連携している例がある。病院や発達支援センター等との連携を強化しては。ブックリストの配布など、必要な人へサービスを届けるための工夫を期待する。
平岡館長	病院等のニーズは認識している。実施できるところから連携を図り、周知に努めたい。
浅見部長	市の総合計画における重点テーマ「こどもまんなか社会の実現」に呼応し、当館の基本方針 3 においても「子どもの健やかな成長を育む」ことを掲げている。これまで乳幼児から学生世代までを対象としたサービスのあり方を示してきたところだが、現実として、当該世代の利用者が十分とは言えない状況にある。この課題を解決し、より多くの子どもたちに図書館へ足を運んでもらうために、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

発 言 者	発 言 内 容
松本主幹	7 報告事項 (1) 令和7年度図書館利用状況について (資料 P8～P12 に基づき説明)
松橋委員	P12 視聴覚ライブラリーにおいて、ワイヤレスマイクの貸出実績が大幅に増加しているが、その背景は何か。
本田分館長	主な要因として、西武地区センターの改築工事に伴う影響が挙げられる。これにより、西武分館 2 階会議室の利用者が増加し、前年度比で約 160%の伸びとなった。この施設利用の増加に伴い、会議室備品であるワイヤレスマイクの貸出需要もあわせて急増したものである。
松本主幹	8 その他 素案に対するご意見等を、6/20 までにいただきたい。
佐藤主任	次回協議会は 12 月 18 日金曜日を予定。一か月前を目安にご連絡させていただく。
	9 閉会

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 8 年 6 月 3 日 議 長 の 署 名 <u>森谷 杏一</u>	